



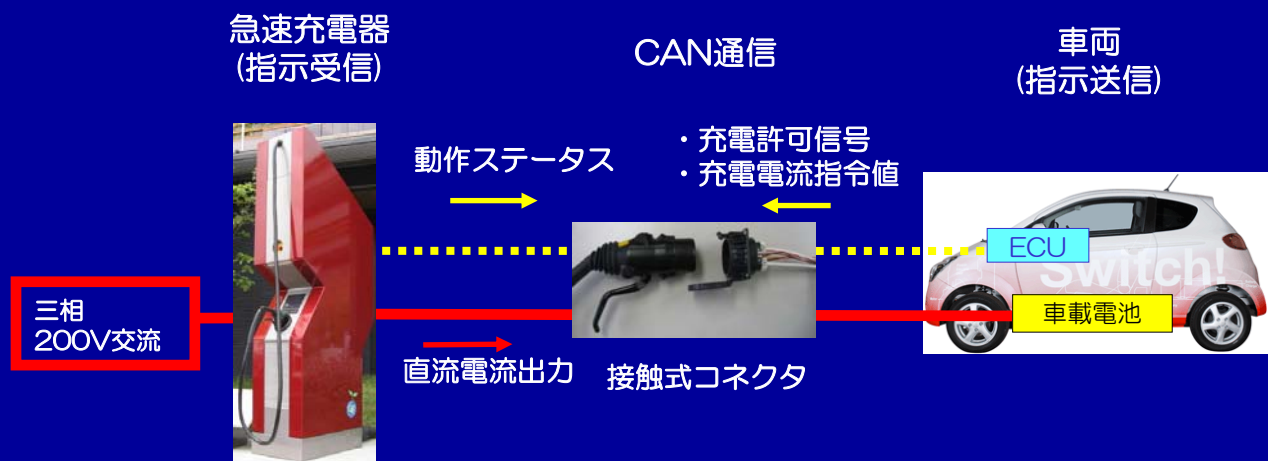
## 仕様

- ・スイッチング方式定電流電源
- ・入力：三相200V
- ・最大出力：50kW
- ・最大出力電圧：500V
- ・最大出力電流：100A

5分で40km、10分で60km  
走行できる程度の充電が可能



# 多様なEVに充電可能な急速充電器



## 課題

- 公共利用では充電システムの標準化が必要
- 最適な充電方法は電池特性や充電時の環境に依存
- 充電方式を過度に標準化すると電池の改良・発展を阻害

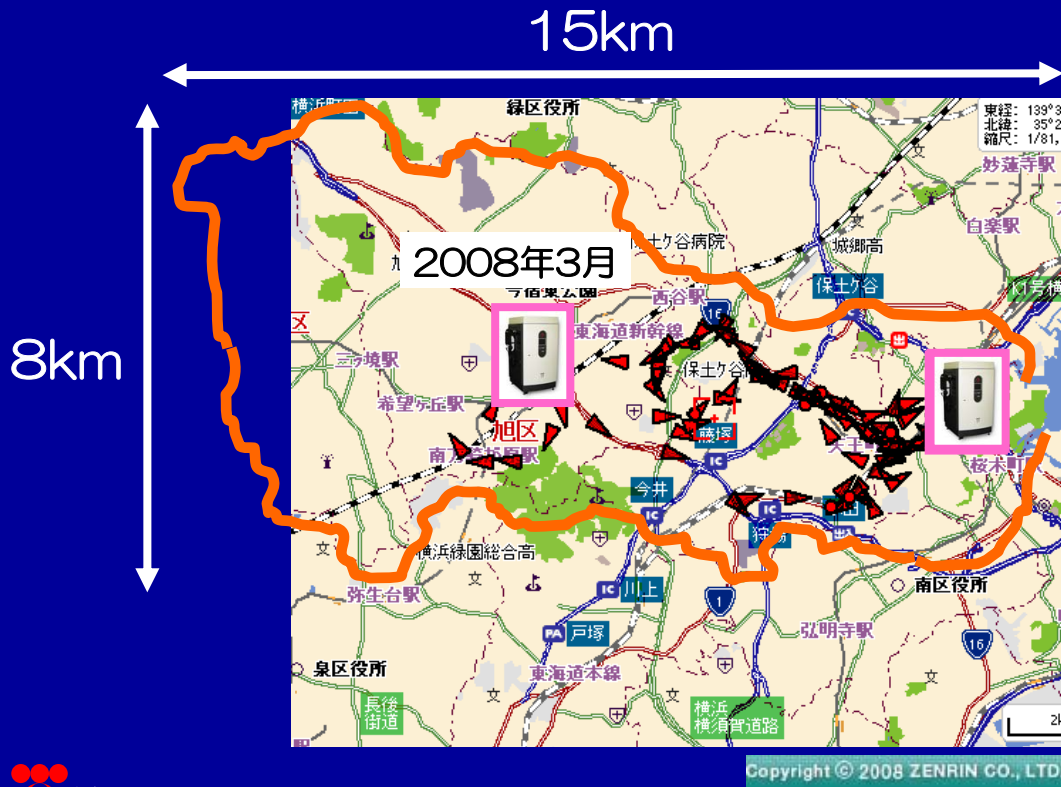
## 解決策

- 車載ECUが車載電池の状態に応じて最適な充電電流を決定
- 充電器は車両から時々刻々送られる指令に従って直流電流を供給



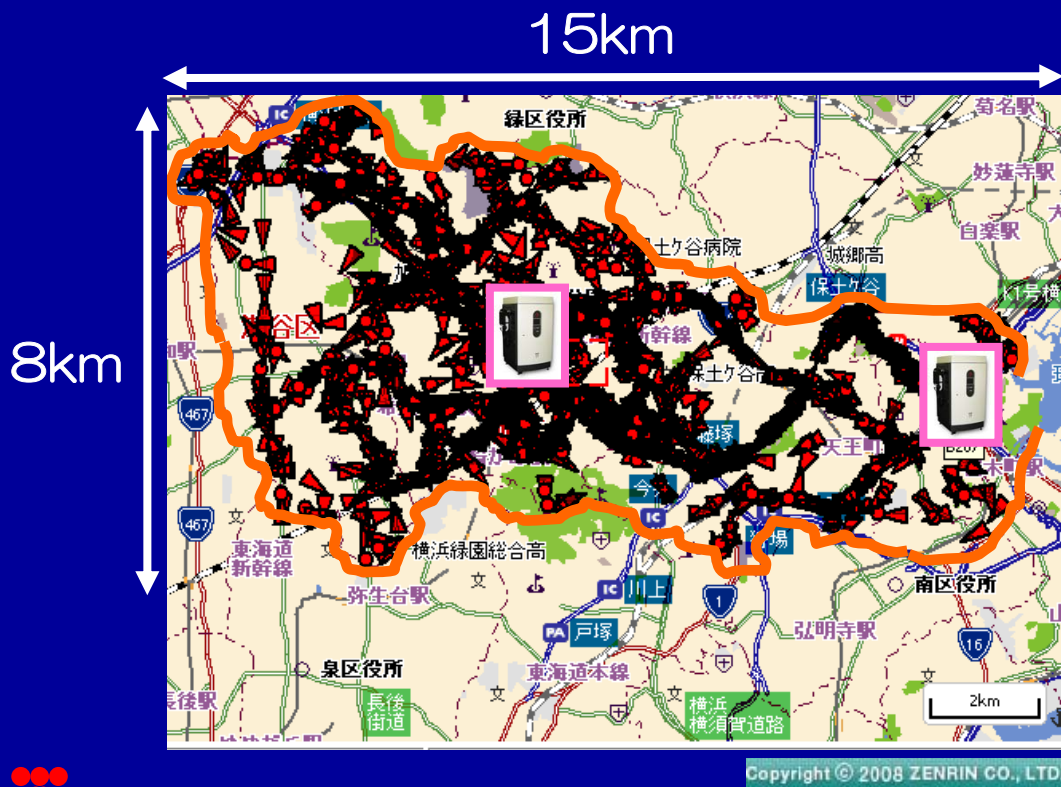
# 急速充電器の増設前 (2007年10月)

21



# 急速充電器の増設後 (2008年7月)

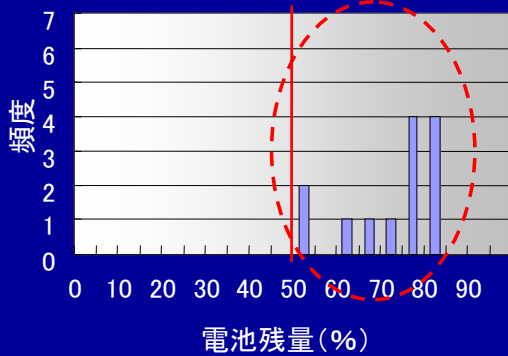
22



# 急速充電器の効果

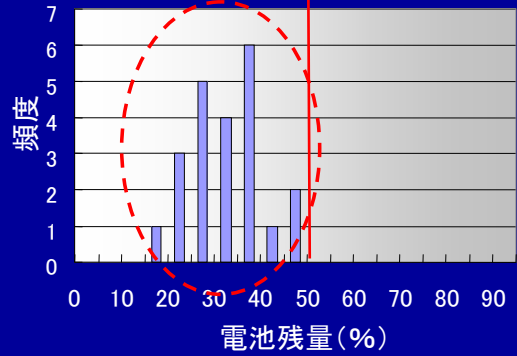
事務所に戻ってきたEVの電池残量の分布状況

2007年10月



電池残量は50%以上

2008年7月



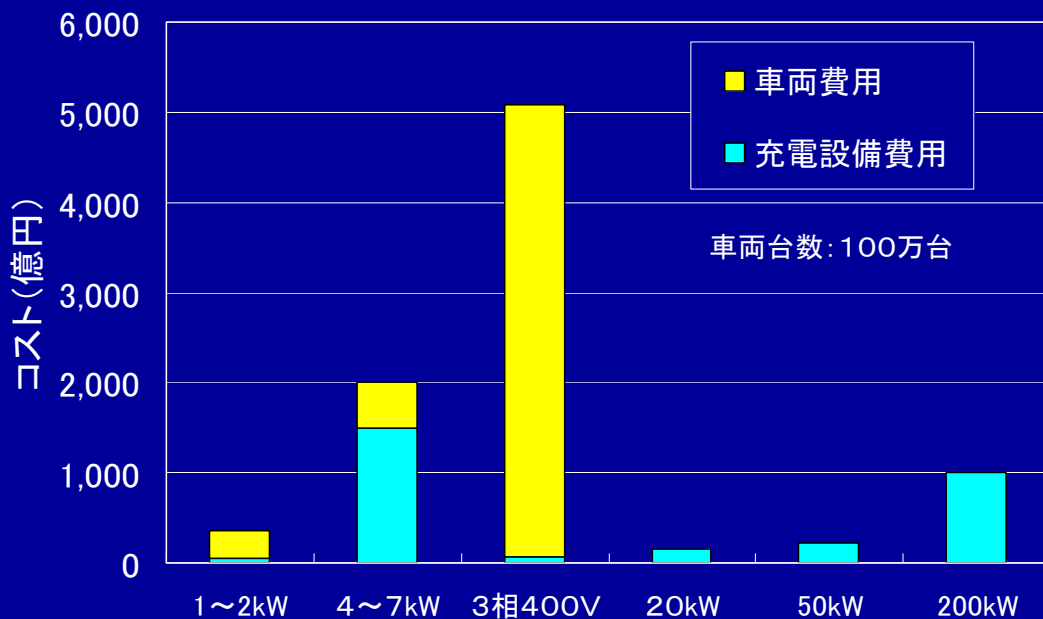
電池残量は50%を下回る

急速充電器の増設

必要になればいつでも充電できるという安心感  
 ⇒ 電池が持つ容量を有効に利用できるようになる  
 実使用頻度が低いので、必要な設置台数も少ない



# 充電インフラの推定費用



充電インフラ基数 ← 10万台 → ← 5000台 →



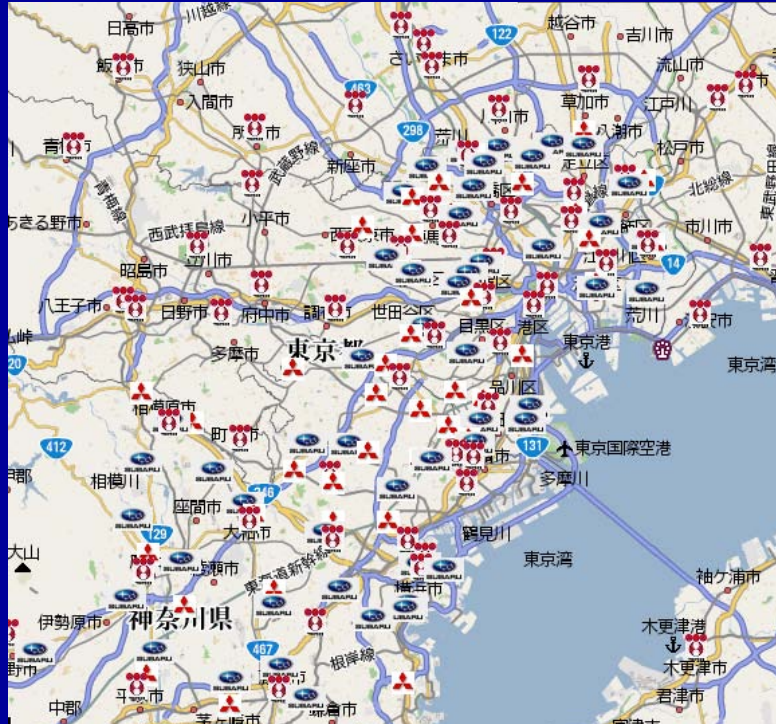
1. これまでの取り組みから学ぶこと
2. EV普及のための方針
3. 急速充電器がもたらす効果
4. 誰が設置するのか？

## 急速充電器の製品化・販売状況

				
(株)ハセテック	(株)高岳製作所	(株)高砂製作所	テンパール工業(株)	(株)キューキ
350万円	350万円	350万円	350万円	440万円

2009年に5社が販売開始

# 最初はEVを作る人と使う人が設置



自分たち以外のパートナーの見当がつかなかった



## 神奈川県庁、合同庁舎



- |           |            |
|-----------|------------|
| 県庁本庁舎     | 2007年11月設置 |
| 小田原合同庁舎   | 2008年11月設置 |
| 平塚合同庁舎    | 2008年11月設置 |
| 産業技術総合研究所 | 2009年1月設置  |



環境問題への取り組みの先導役として



## 三菱地所 ビル地下駐車場

29



新丸ビル  
2008年9月設置



丸の内パークビル  
2009年4月設置



横浜ランドマークタ  
ワー

環境との共生を目指した街作りの一環として

2009年9月設置



東京電力

## イオンモール 越谷レイクタウン

30



2008年9月設置



車の来場が多い業態として環境に配慮した新しいモールの形を提案



東京電力



銀座鍛冶橋駐車場 2008年9月設置  
西新宿第四駐車場 2009年12月設置

公共性の高い駐車場の役割  
として



平和島PA 2008年10月設置  
大黒埠頭PA 2008年9月設置  
八潮PA 2009年3月設置  
市川PA 2009年3月設置

道路沿線の環境改善への取り組みとして





2009年3月設置



EVは品川キャンパスとの間の移動用に利用

地域の環境活動への協力として



東京電力

パレスサイドビル（毎日新聞本社）

新聞社が勧める地球環境対策に  
協力して設置

2009年10月設置



駐車場利用者やテナントの方の環境意識向上を願って



東京電力





2009年3月設置

太陽光発電と併せた  
新しいエネルギー供給  
ステーションとして



横浜幸浦 S S 2009年7月設置  
大黒埠頭 S S 2009年7月設置  
あわた S S 2009年12月設置

環境問題への積極的な取り組みをサポート

